

昨秋に癒着性イレウスの手術をし、年末に退院しましたが、下痢や軟便が続き困っています。現在は毎食後、リン酸コデインを飲んでいますが、よい結果が出ません。どうすれば下痢が改善するのか教えてください。(80歳、女性)

イレウス手術後の不調



堀尾勇規医師

イレウスとは腸閉塞のことをいいます。癒着性イレウスは、腸がくっついたり折れ曲がったりして消化管が狭くなること

合併症ではない可能性も

腸症候群(IBS)といった他の病気の可能性を考えるべきです。下痢になったり、普通の便や軟便になったり、症状によって便の回数が変化したりするならば、IBSの可能性がありますので一度内科に相談してみるといいでしょう。高齢者のUCも増加傾向にあるので、疑わしけ

切ると短腸症候群となり、自宅でも点滴が必要になる場合もあります。下痢に対する治療は、感染性の腸炎が否定された上で、まず整腸剤や、腸の動きを一時的に止めて吸収を促すようなロペラミドカプセル(一般名・ロペラミド塩酸塩)を使用します。そ

療もあります。食事内容や水分の取り方、生活習慣に、ストレスに気をつけることも大切です。主治医と相談し、腸を整える方法を探してみてください。(兵庫県外科医会、堀尾勇規 西宮市、兵庫医科大病院) ◆第1、3、4日曜に掲載します。

で、内容物が流れなくなった状態のことです。もしくっついた部分を剥がすだけで手術が終了しているなら、術後に大きな影響が出る例はあまり聞きません。

一方で、昨秋の手術で仮に腸を切除していたのなら、腸が短くなることで水分や栄養を吸収する機能が落ちて、慢性的に下痢を引き起こしている可能性が考えられます。人間の小腸は5〜7倍程度ありますが、2倍を

れでも良くならなければ、コロンネル錠(同・ポリカルボフィルカルシウム)やリン酸コデイン(同・コデインリン酸塩水和物)を併用していきます。短腸症候群の場合は、レベスティブ(同・テデユグルチド遺伝子組み換え)という皮下注射を打って腸管の粘膜を増殖させる新しい治